

# 公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

## 2019年度事業報告

### I 概要

2019年度はJHF上級タンデム技能証制度のスタートに伴い全国各地で上級タンデム技能証検定会が行われました。競技関係では、8月に開催された第16回FAIパラグライディング世界選手権において日本チームが銅メダルを獲得しました。安全面ではパイロット安全セミナーを4カ所で開催し、プレフライトチェックを徹底するためのチェック5タグの普及促進、事故ゼロキャンペーン等の安全啓蒙活動を行いました。しかし、ハンググライダーの空中衝突による重大事故が発生するなどしており、今後も安全対策には力を入れていく必要があります。

#### 1. 収支の現状

前年度からの次期繰越金が29万円弱となる中で、単年度赤字を続ける方針を取り、今年度はいよいよ公益目的事業基金1800万円を取り崩しました。2年に一度の世界選手権イヤーであり、上級タンデム技能証の検定会の全国展開を本格化し、さらに3年に一度の開催となる教員検定員研修検定会が行われ、資金需要の旺盛な2019年度となりました。そのような中、昨年度落ち込んだ有効フライヤー会員数が、一過性でなく2019年度も前年度比5%の減少を見せJHFの収入減が顕著となっております。このため従来から報告していた、基金取り崩しから3年程度は運営資金をまかなえるという見通しの通り、2021年度にはほぼ余裕がなくなる見込みとなりました。

絶対に保険引き受け拒否を招いてはならないという命題のもとに、個人賠償責任保険（フライヤー保険）については永年対策として交渉を続けています。数年前に保険業界による一律見直しにより保険商品のリセットが行われ、保険料の負担は減少しましたが、同時に損害率の急上昇のリスクにさらされており、徐々に保険料の上昇の流れとなっております。今後JHFの収支にとって、より大きな負担となる予定です。

#### 2. 組織運営等

- 1) 教員検定員研修検定会を2月18日～20日に開催、21名が参加
- 2) 教員検定員による教員助教員更新講習会を10カ所で開催、71名が受講
- 3) レスキューパラシュートリパック更新講習会を11カ所で開催、43名が受講
- 4) 教員技能証学科検定については集合研修検定を2月14日～16日に開催 9名受検
- 5) 上級タンデム検定会を開始 13カ所 232名受検
- 6) 第6回JHFフォトコンテストを開催

#### 3. 特記事項

- 1) 第42回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛  
7月27日（土）～28日（日） 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 令和元年度一般財団法人日本航空協会「空の日」航空関係者表彰式が開催（9月20日）  
され朝日和博さんが国際航空連盟（FAI）エアスポーツメダルを受賞した。  
自作機での挑戦を原点に、日本のハンググライディング草創期よりフライヤー組織の立ち上げに尽力し、1982年からJHF会長等の役職を努め、教員として長年活躍パラグライダーの呉本圭樹選手に日本記録証が授与された。  
直線距離 375km（2018年12月2日） オーストラリア

3) 一般財団法人日本航空協会の航空スポーツ教室「スカイ・キッズ・プログラム」の第44回(8月3日~4日)、第45回(1月26日)に東京都ハング・パラグライディング連盟が協力

4) 第25回スカイスポーツシンポジウムを協賛

11月30日(土)~12月1日(日) 都立産業技術高等専門学校(荒川キャンパス)

## II 事項別状況

### 1. 組織

#### (1) 会員数

ア 正会員 47

イ フライヤー会員 6,891名(2020年3月末有効登録数)

ウ 賛助会員 10

#### (2) 役員構成

理事 7名(内会長1名、副会長2名) 監事 2名(2020年3月末現在)

### 2. 会議等の開催

#### (1) 総会

2019年 6月通常総会  
開催通知 2019年4月 5日(金)  
開催日 2019年6月11日(火) 11:00~17:00  
開催場所 北とぴあ 7階・第二研修室  
(東京都北区王子)

議案 報告事項1 2018年度事業報告について  
報告事項2 2018年度決算報告について  
決議事項1 貸借対照表及び損益計算書の承認について  
報告事項3 2019年度事業計画について  
報告事項4 2019年度収支予算について  
決議事項2 JHF役員選任について

#### (2) 理事会

ア 第1回理事会 開催日 5月 9日(出:理事8、監事1)  
イ 第2回理事会 開催日 6月11日(出:理事8、監事1)  
ウ 第3回理事会 開催日 6月11日(出:理事7、監事1)  
エ 第4回理事会 開催日 7月30日(出:理事7、監事1)  
オ 第5回理事会 開催日 10月 1日(出:理事7、監事2)  
カ 第6回理事会 開催日 12月 6日(出:理事7、監事2)  
キ 第7回理事会 開催日 3月 5日(出:理事6、監事1)  
ク 第8回理事会 開催日 3月27日(出:理事7、監事1)

文書理事会 開催日 5月13日、15日、29日、7月1日、10月31日、  
1月7日、22日、23日、28日

#### (3) 委員会

ア ハンググライディング競技委員会 競技会開催時に実施  
イ パラグライディング競技委員会 競技会開催時に実施  
ウ 補助動力委員会 4/22、1/27  
エ 教員・スクール事業委員会 4/9、5/28、7/2、9/17、

	11/12、1/20
オ 安全性委員会	5/28、11/22
カ 制度委員会	
キ ハングパラ振興委員会	10/30
ク 役員選任実行委員会	5/9、6/18
ケ 委員長理事合同会議	2/28

上記のほか電子メール会議を実施し、経費削減に努めた。

### 3. 事業の実施状況

#### (1) 普及振興活動

ア JHF レポートを発行（4月、7月、10月、1月）

（独立行政法人日本スポーツ振興センター・スポーツ振興くじ助成を受けて発行しています）

イ 都道府県連盟事業費の交付

ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

#### (2) フライヤー会員登録

登録数：2019年度 5, 145名（新規・更新）

2018年度 5, 510名

#### (3) 技能証発行

ア HG： 199枚（2018年度 216枚）

イ PG： 782枚（2018年度 868枚）

ウ MPG： 11枚（2018年度 14枚）

エ レスキューリパック認定証 66枚（新規18・更新48）

#### (4) 競技会の主催・公認・後援

ア HG： 17件（内FAIカテゴリーI・II：6件）

イ PG： 26件（内FAIカテゴリーI・II：2件）

ウ HG・PG同時開催： 8件

#### (5) 競技会の開催

ア HG：

##### 1 日本選手権

9月19日～23日 茨城県 石岡市 足尾山エリア

参加50名

日本選手権者：田中元気 女子日本選手権者：谷古宇瑞子

##### 2 クラスV日本選手権 4月12日～14日

茨城県 石岡市 足尾山エリア 参加14名 日本選手権者：板垣直樹

##### 3 ハンググライダーシリーズ（参加人数80名）

第1位 田中元気 女子第1位：佐野容子

##### 4 ハンググライダーフライトコンテスト

フリーディスタンス クラスV 1位 松田隆至（208.92km）

クラスI 1位 砂間隆司（157.04km）

アウトアンドリターン クラスV 1位 松田隆至（116.31km）

クラスI 1位 田中元気（156.78km）

トライアングル クラスV 1位 板垣直樹（101.30km）

クラスI 1位 田中 猛（68.26km）

デュレーション 1位 大沼 浩（7:50:11）

イ PG：

##### 1 日本選手権

4月26日～30日 石川県 白山市 獅子吼高原スカイレジャーエリア

参加97名 不成立

- 2 アキュラシー日本選手権  
 11月16日～17日 千葉県 山武市 本須賀海水浴場  
 参加25名  
 日本選手権者：菊田高司 女子日本選手権者：伊藤まり子
- 3 ジャパンリーグ(参加人数113名)  
 オープンクラス 1位：岩崎拓夫  
 オープンクラス女子 1位：山下敦子  
 スポーツクラス 1位：田中 健
- ジャパン2リーグ(参加人数104名)  
 総合 1位：森山寿幸  
 女子 1位：鈴木 彩  
 チーム 1位：塾びよ
- クロスカントリーリーグ(18名 70本)  
 1位：大曾根淳(433.9km)  
 大曾根淳(134.5km)
- 最長フライト  
 大曾根淳(134.5km)
- アキュラシージャパンリーグ(参加人数46名)  
 スクラッチクラス 1位：岡 芳樹  
 スクラッチクラス女子 1位：伊藤まり子  
 ハンディキャップクラス 1位：岡 芳樹  
 学生クラス 該当者なし  
 チーム 1位：Airkassy
- (6) スクール・エリア情報の収集及び公開  
 ア スクールサイト登録校 167件 (削除2件、新規4件)  
 イ エリア情報掲載 172件 (削除4件、新規1件)
- (7) 海外関係団体活動  
 ア CIVL総会 2020年1月30日～2月2日 スイス  
 出席者：デレグイト 岡 芳樹、HG競技委員 牟田園明
- (8) 世界選手権等へのチーム派遣  
 ア 第22回FAIハンググライダーディングクラスI世界選手権  
 参加選手：6名  
 7月13日～27日 イタリア  
 イ 第16回FAIパラグライダーディング世界選手権  
 参加選手：4名  
 8月5日～18日 北マケドニア  
 ウ 第10回FAIパラグライダーディング・アキュラシー世界選手権  
 参加選手：4名  
 9月8日～18日 セルビア
- (9) その他  
 ア 機体型式登録 20件(PG 20件、HG 0件)  
 イ 機体情報登録 0件(PG 0件、HG 0件)

添付： 2019年度 委員会活動報告補足

以上

## ＜ 2019年度委員会活動報告補足 ＞

### ハンググライディング競技委員会 委員長 板垣 直樹

#### 1) ルールブックの改訂

#### 2) 委員会ホームページの運営

公認大会の情報、ハングシリーズ大会のエントリー情報の更新は随時実施

#### 3) 第22回FAIハンググライディング・クラス1世界選手権選手派遣(トルメッツォ イタリア)

2019年7月13日～27日 約120名参加

鈴木由路 12位、加藤実 24位、田中元気 26位、砂間隆司 39位、  
太田昇吾 56位、佐野容子 120位 国別 5位

#### 4) 2019年ハンググライディング・クラスI日本選手権開催(茨城県 足尾山エリア)

2019年9月19日～23日 50名参加 タスク4本成立・日本選手権成立

日本選手権者: 田中 元気、女子日本選手権者: 谷古宇瑞子

2位 岡田伸弘、3位 砂間隆司、4位 鈴木由路、5位 氏家良彦、6位 石坂繁人  
女子2位 内田秀子、3位 櫻井さやか

#### 5) 2019年クラスV日本選手権開催(茨城県 石岡市 足尾山エリア)

2019年4月12日～4月14日 14名参加。タスク2本成立

日本選手権者: 板垣直樹、2位 櫻井大朗、3位 佐々木則生

#### 6) ハンググライディングシリーズ管理運営

参加人数 80名

1位 田中元気、2位 砂間隆司、3位 大門浩二

女子1位 佐野容子、2位 内田秀子、3位 櫻井さやか

#### 7) フライトコンテストの運営

フリーディスタンス

クラスI	1位	砂間隆司	157.04km	2位	石坂繁人	152.51km	3位	氏家良彦	142.89km
クラスV	1位	松田隆至	208.92km	2位	岡田伸弘	186.69km	3位	佐々木則生	151.5km

アウトアンドリターン

クラスI	1位	田中元気	156.78km	2位	氏家良彦	80.43km	3位	砂間隆司	75.2km
クラスV	1位	松田隆至	116.31km	2位	山本剛	102.47km	3位	佐々木則生	69.38km

トライアングル

クラスI	1位	田中 猛	68.26km	2位	中村智史	68.01km	3位	太田昇吾	63.53km
クラスV	1位	板垣直樹	101.3km	2位	山本剛	90.42km	3位	松田隆至	83.52km

デュレーション

1位	大沼 浩	07:50:11	2位	佐々木則生	07:11:00	3位	松田隆至	06:51:20
----	------	----------	----	-------	----------	----	------	----------

#### 8) 各種大会のJHF公認および後援申請に対する審議および承認

#### 9) SNSによる情報発信

#### 10) ライブトラックの購入検討

ライブトラックシステムの運用は競技委員会とは独立した組織に委任した

競技委員会としてはライブトラックを積極的に競技に取り入れていく方向で進めている

- 1) ルールブックの改訂
- 2) WEB事務局・ホームページ管理
- 3) 第16回パラグライディング世界選手権（北マケドニア、Krushevo：2019年8月5～18日）へ選手派遣（男子3名、女子1名：成山基義、呉本圭樹、廣川靖晃、平木啓子）。参加選手数：150人（内女子21人）。参加国：48か国。  
総合1位：Joachim OBERHAUSER（イタリア）、2位：Gleb SUKHOTSKIY（ロシア）、3位：Honorin HAMARD（フランス）、7位：廣川靖晃、54位：呉本圭樹、75位：平木啓子、95位：成山基義  
女子1位：Meryl DELFERRIERE（フランス）、2位：Yael MARGELISCH（スイス）、3位：Kari ELLIS（オーストラリア）、5位：平木啓子  
国別1位：フランス、イタリア、3位：日本
- 4) 第10回アキュラシー世界選手権（セルビア、Vrsac：2019年9月8日～18日）へ選手派遣（男子3名、女子1名：岡 芳樹、古田岳史、川村 眞、伊藤まり子）。参加選手数：131人（内女子22人）。参加国：28か国。  
総合1位：ウー・ヨン（中華人民共和国）、2位：イルヴァン・ウイナリア（インドネシア）、3位：マティアス・スルーガ（スロベニア）、93位：岡、97位：伊藤、122位：古田、126位：川村。  
女子1位：ソヨン・チョウ（大韓民国）、2位：ユンヨン・チョウ（大韓民国）、3位：ジョージアナ・ビルゴズ（ルーマニア）、11位：伊藤。  
国別1位：インドネシア、2位：中華人民共和国、3位：コロンビア、19位：日本。
- 5) Jリーグ、J2リーグ、XCリーグ、AJリーグ管理
  - ・ Jリーグ結果（参加人数113名）

オープンクラス	1位：岩崎拓夫、2位：呉本圭樹、3位：上山太郎
オープンクラス女子	1位：山下敦子、2位：平木啓子、3位：中目みどり
スポーツクラス	1位：田中 健、2位：小田雅也、3位：川名美江
  - ・ J2リーグ（参加人数104名）

総合	1位：森山寿幸、2位：鈴木 彩、3位：梅本昌克
女子	1位：鈴木 彩、2位：富永あゆみ、3位：四方 純
チーム	1位：塾ぴよ、2位：ふえありー、3位：エリアヤマザキ
  - ・ XCリーグ（18名、70本）

1位	：大曾根淳（433.9km）、2位：多賀純一（427.6km）、3位：中川喜昭（408.3km）
最長フライト	：大曾根淳（134.5km）
  - ・ AJリーグ（参加人数46名）

スクラッチクラス	1位：岡 芳樹、2位：和田浩二、3位：日野正浩
スクラッチクラス女子	1位：伊藤まり子、2位：菊田久美、3位：橋本みさ紀
ハンディキャップクラス	1位：岡 芳樹、2位：和田浩二、3位：日野政浩
学生クラス	該当者なし
チーム	1位：Airkassy、2位：飛魔人くらぶ、3位：エキストラ、大台

- 6) 2019年度XC日本選手権開催（石川県獅子吼エリア）2019年4月26～30日  
タスク0本成立/5日 97人参加 規定により日本選手権として不成立。
- 7) 2019年度アキュラシー日本選手権開催（千葉県本須賀海水浴場）2019年11月16～17日  
4ラウンド成立 25人参加 規定により日本選手権として成立。  
日本選手権総合1位:菊田高司、2位:岡 芳樹、3位:和田浩二、4位:日野正浩、  
5位:伊藤まり子、6位:塚原隆信。  
日本選手権女子1位:伊藤まり子、2位:望月奈緒、3位:内田 薫。
- 8) ライトトラッカーを試験導入（2019Autumn スカイグランプリ inASHIO、2019年スカイグランプリ in 吉野川）

### 安全性委員会 委員長 竹村 治雄

- 1) 2019年度事故件数 PG 26件（内重大事故4件）  
MPG 4件（内重大事故1件）  
HG 5件（内重大事故2件）
- 2) 機体登録制度の推進と改訂検討（EN926-1, EN926-2 認証機体の登録簡素化）
- 3) PG・MPGパイロットセミナーの開催実績
 

4月 7日	PG/MPG	青森県連盟	安全セミナー	22名	古川
4月17日	PG/MPG	北海道連盟	安全セミナー	13名	田代
12月22日	PG	長野県連盟	安全セミナー	22名	加賀山
2月2日	PG	福岡県連盟	安全セミナー	25名	小林
- 4) セーフティーノーツの管理（担当：竹村）
  - ・定期的に DHV、BHPA 等の情報を確認し、可能な範囲でHPに反映
- 5) ハング機体整備制度・現状調査（担当：西本）
- 6) 安全性委員会HP状況管理（担当：伊尾木）
  - ・定期的に確認
- 7) 事故ゼロキャンペーンの実施（全国スクールおよびクラブエリア宛て）
- 8) チェック5タグの普及促進（安全注意喚起）
 

【5項目】レスキューピン、ラインチェック、バックル（レッグ→チェスト）  
無線機（通信→ロック）、風の状況

### 教員・スクール事業委員会 委員長 北野正浩

- 1) PG・HG・MPGパイロット安全セミナーの開催
- 2) 教員実技検定会 PG 4名 HG 0名
- 3) 教員学科集合検定（2020年2月14日～16日）参加者9名（受検PG7名、HG2名）
- 4) 教員の資質向上の支援 ※実施せず
- 5) 教員助教員更新講習会 10カ所 71名受講
- 6) レスキューパラシュートトリパック認定証更新講習会 11カ所 43名受講

- 7) レスキューパラシュートトリパック認定証検定 新規認定 17名
- 8) PG 教本改訂版の発行（最終校正段階）
- 9) HG 教本の発行（最終校正段階。制度委員会に技能証規程の確認を依頼）
- 10) PG・HG 学科試験の見直し ※完了はトリパック認定証の学科試験のみ
- 11) パイロット証更新制度導入に向けた検討 ※当面は延期。教員制度の見直しが先と判断
- 12) 上級タンデム技能証検定会を開始。 13カ所 232名受検
- 13) 教員検定員研修検定会を開催（2020年2月18日～20日 静岡県朝霧エリアにて。実技検定も実施。参加21名（PG17名、HG5名、両方：各内数1名））
- 14) チェック5タグの制作と配布（安全性委員会と合同）
- 15) スクール支援のためのニュースの定期配信 ※実施せず

### 補助動力委員会 委員長 須藤 彰

#### 1) 事故報告

- 1 4月29日滋賀県大津市 MPG 証3年  
タンデムローパスで、誤って着地しそのまま離陸するも少ししか上昇せず  
水路を渡ったコンクリート部分に接触、パッセンジャーは無傷、パイロットは骨折重症。
- 2 7月17日静岡県海岸 MPG・JPMA 離陸直後、失速・強打・死亡
- 3 7月21日北海道 MPG・P 証  
離陸時、乱れたまま加速失敗し、前面から転倒、顔面強打、サングラスをしていた為  
眼底骨折。
- 4 9月2日栃木県鳥山 MPG 高度2700メートルで火災  
降りてくるまでに時間がかかり、火傷・重症。エンジンユニット改造・実験中。

#### 2) 補助動力と安全性委員会からフライヤーへ注意喚起を出す。

9月2日の飛行中火災事故のため、無用な改造をしない・エンジンユニットの再点検を呼びかける。

- 3) イベント大会に関して 予定をしていたイベントが台風の影響で中止
- 4) MPG 安全マニュアル作成（小冊子） 3月までに作成、来期配布予定

### 制度委員会 委員長 中瀬 誠

#### 1) JHFにかかわる制度の定款、規約、規程、規則などの文書管理

- 一 理事会諮問事項への答申等
  - ・規程改正案作成と理事会上程
    - JHF 会計処理規程
    - JHF 公印取扱規程
    - JHF 理事職務分担規程
  - ・JHF 技能証規程改正案作成と理事会上程
    - 上級タンデム証制定により改正



ハンググライディング教本改正に伴い改正

- ・ J H F H P 上の総覧整備（規程改正および F A I 部分）

<https://jhf.hangpara.or.jp/office/office.html>

－ F A I 技能記章、公式立会人に関する事項の研究

- ・ ハンググライダー公式日本記録申請支援

## 2) 他委員会および事務局との連携

－ 各種制度導入および改正について教員・スクール事業委員会と検討

- ・ 上級タンデム証制定により改正

・ ハンググライディング教本改正により技能証規程改正案作成し理事会提出

- ・ J H F 教員助教員更新講習会規程

## ハングパラ振興委員会 委員長 井上 潔

### 1) 今飛んでいる人が飛び続けられる環境作りの検討(継続)

- － フライヤーズボイスの定期更新体制の運用と継続的見直し
- － 飛ぶのを止めてしまった方の状況分析
- － 学生が卒業して止めてしまう問題の分析と対応策検討（学連と連携）
- － 家族向けパンフレット「ご家族の皆様へ（仮称）」制作、学生向けに配布開始
- － J H F レポートの活用検討（特集記事など）
- － SNS（Facebook 等）を活用した情報発信の検討

### 2) 体験会等イベントへの協力

- － 体験会を安全に実施するための指針検討（安全性委員会へ引き継ぎ）

### 3) 外部組織との連携

- － VR 体験に関する大学研究室との協力体制維持

### 4) H G 教本および P G 教本改訂への協力

## 役員選任実行委員会 委員長 鈴木 由路

### 1) 2019年度総会における役員選任に実施